

住まいは、生き方

# チルチンびと

季刊  
117  
2023  
秋

特集

## 窓辺の緑

益子義弘、田中敏博、藤井 章、磯 健介

雑木の庭づくり 作庭家・平井孝幸、菊池好己  
土壌微生物と植物の共生



旅立った  
ベニシア  
梶山 正

チルチンびとの暮らし  
藤沢市・パンの蔵「風土」を訪ねて  
姫路市・農家レストランこぼファームキッチン  
高須賀晋と持井工務店 八ヶ岳 大工集団 くじらぐみ  
WEB チルチンびと木の家広場「栃木県」

# 3本の丸太柱の吹き抜けで、 くつろぐ時間

## くつろぐ時間

設計 佐野一広  
施工 (株)グッドリビングどんぐりの家  
写真 畑耕  
自然素材にこだわる  
地元工務店との出会い

千葉県我孫子市、駅にほど近い住宅街に建つK邸。土間玄関を入った瞬間に木のいい香りと、現しの梁がかかる開放的な吹き抜けが広がる。玄関横スペースにずらりと並ぶ自転車、ウエツトスーツ、ランニングシューズに目を奪われていると「私たち、趣味がトライアスロンなんですよ」とKさん夫妻が笑顔で迎えてくれた。奥さんに抱っこされた、もうすぐ1歳になるゆりちゃんも、じっとこちらを見つめている。

家づくりのきっかけは、以前から家を建てたいと思っていた奥さんが、ご主人を住宅展示場へ誘ったこと。「木の家を見て、住めば住むほど味が出てくる感

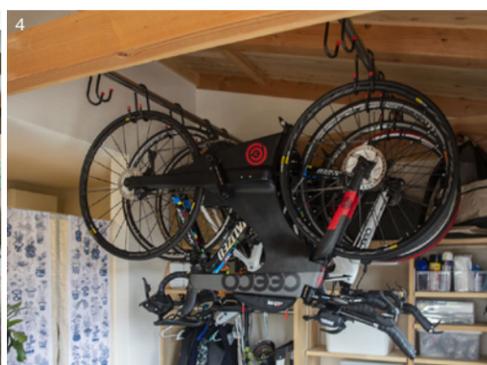
昔から憧れていたという薪ストーブや植物に囲まれる暮らしを実現し、共通の趣味であるトライアスロンを存分に楽しめる環境を整え、理想の住まいを叶えたKさん夫妻。もうすぐ1歳になるお子さんと、家族団らんの時間を過ごす。



じに惹かれて。賃貸で十分かなと思っていました。家を建てるのもいいかもと、ころりと考えが変わりました」とご主人が笑う。当初、別の工務店を検討していたという夫妻が選んだのは、千葉県野田市に本社を構える工務店・グッドリビングどんぐりの家。同社が掲載された『千ルチンびと別冊63号』をご主人が本屋さんで見つけたのが出会いだという。「自然素材の木材をふんだんに使っているのと、家や職場から近いので目に留まったんです。ホームページを見たら次の日くらいに無料相談会をやっていたので行ってみよう。担当してくれた営業の塚本忠さんがとても親切で、提案してくださった間取りも素敵だったんですよ」と二人が声を揃える。

家づくりの打ち合わせをしている時期に妊娠が判明したという奥さんは「どんぐりの家さんは住人の健康に配慮した家づくりをしてくれるので、家の素材に対して不安要素が何もないっというの、子どもにとって本当によかったなと改めて感じています」と、ゆりちゃんを見つめながら話す。

1 2階から庭を見る。3週間前にジュンペリーを囲むように植えてもらったという、たくさんの植物が並ぶ。  
2 黒壁とヒノキ板の組み合わせがシックな印象を与えるK邸の外観。[板張りの塗装作業は私たちも参加し、いい思い出になりました] (奥さん)。  
3 家族団らんの時間を過ごす。薪ストーブはダブル640WD。 4 土間玄関に設けた、こだわりの自転車収納スペース。 5 ペンチをしつらえた、使い勝手のよい玄関。スタンドグラスのテーブルランプは奥さんの伯母さんの手づくり。





吹き抜けが気持ちいいダイニング。  
無垢材の梁や床と白壁のコントラスト  
がナチュラルで優しい雰囲気。



キッチンからダイニングを見る。3本の丸太柱の先に大開口が広がる。末口180ミリメートルの丸太柱は荷重を支え、構造的にも大切な役割を担う。「通り抜け動線になるため、角をつくらず柔らかな表現にしました」(川村社長)。

## のびやかな吹き抜け空間と薪ストーブの心地よさ

昨年の11月から家族3人で暮らす住まいは、1階には薪ストーブのある土間、広々としたLDKに水回りとウッドデッキを設け、2階は寝室とロフトという間取り。同社の社長・川村一雄さんが「設計担当から全体的に仕切りをなくし、一つの大きな空間になるように提案しました。また、お子さんの成長や生活環境の変化に合わせて、吹き抜け部分は増改築できるようになっています」と話す、「つくり込まずフレキシブルに、余白があるのがいいですね」と余白が領く。

二人が希望したのは玄関土間から洗面所へ直結すること、自転車の収納スペースの確保だった。「ランニングして汗だらだらで帰ってきて、すぐに汗を流せるようにしたかったんです。あとは、自転車の設置と道具収納の両立です。結果的に天井の高さを生かして吊るすことにしました。ホームセンターに通い詰めて辿り着いた、オリジナルの収納方法です」(ご主人)。ご主人が一番悩んだのは、薪

ストーブの導入だった。「モデルハウスで薪ストーブを焚いてくれて、その暖かさが心地よくて。準備と手間はかかりますけど、入れて大正解でした」。奥さんも「寒いのが苦手なので、岩盤浴みたいに家全体がじんわりと暖かいのがうれしいです。薪ストーブの前で子どもと寝転がって遊んでいると、気持ちよくて幸せだな。お気に入りの場所です」と満足そう。

この家でもうすぐ1年目を迎える夫妻は「ウッドデッキにプールを出して水遊びをしたり、プロジェクトを設置して映画を観たり、ハンモックを吊ってお昼寝したり、やりたいことがいっぱいありますね」と夢が尽きないようだ。

## 背伸びしない自分らしい庭づくり

西側の庭の可愛らしいレンガで囲われた花壇にはシンボルツリーのジュンペリを中心、いろいろな低木や花が植えられている。菜園スペースには奥さんが育てた野菜が実る。「父が畑をやっていたので、収穫できるものを育てるのは好きでした。母も花やハーブが好きで、私も

## K邸の庭

シンボルツリーと全体的なレイアウトはイノセントガーデン(株)の川鍋正人さんに依頼し、植栽プランはGARDEN TOOLSの伊藤慎子さんに提案してもらったというK邸の庭。子育てと仕事で忙しいKさんは、「雑草が生えてもいいよね」という気負わない庭をリクエスト。菜園スペースではジャガイモ、ミニトマト、トウガラシ、シソなどを育てている。今年、シンボルツリーであるジュンペリーの実を600gも収穫したそう。

### 菜園の野菜



ローズマリー トウガラシ



ミニトマト



ジャガイモ



### 庭木



エリゲロン



エキナセア



ユーフォルビアクラリスハワード



ガウラ



ルドベキア



三尺バーベナ



ウエストラングリア



サルビアネモローサカラドンナ(左) ステイバ(右)



フォックスリータイム



アガパンサス



クレバントセージ



アナベル



ニューサイラン



1 洋裁が趣味の奥さんがお母さんから譲り受けたというミシン。 2 造作デスクと置き畳のあるリビング。 3 もうすぐ1歳になる、ゆりちゃん。 4 2階の多目的室。階段の先には物置として活用しているロフトがある。



左からKさん一家、どんぐりの家の川村一雄社長。

植物に囲まれた生活をしたいなと思っただけです(奥さん)。庭をどうしようか迷っていたときに、妊娠中から通っていた編み物教室の先生に作庭家を二人紹介してもらい、レイアウトと植栽プランを依頼することに。花より団子派の奥さんは、料理に使えるもの、日光に強いもの、ローメンテナンスなものをリクエスト。結果、宿根草を多めに手入れのしやすい、可愛らしい植物たちに彩られた庭が完成。「まだ植えたばかりなので、これから成長していくのが楽しみです」と、幸せそうな奥さんの笑顔が充実した暮らしを物語っていた。



#### 国産木材使用量

(株)グッドリビング  
どんぐりの家: 15㎡  
一般工務店: 8.52㎡



#### 二酸化炭素固定量

(株)グッドリビング  
どんぐりの家: 8.808t-CO<sub>2</sub>  
一般工務店: 5.01t-CO<sub>2</sub>

イラスト=本橋靖昭

所在地: 千葉県我孫子市  
家族構成: 夫婦+子ども1人  
敷地面積: 238.48㎡ 延床面積: 114.80㎡  
竣工: 2022年10月(工期2022年5月~10月)  
設計: 佐野建築設計室 佐野一広 ☎047-343-0118  
施工: (株)グッドリビング どんぐりの家 現場監督 中村真弓  
構造形式: 木造軸組工法(2階建て+ロフト)  
主な外部仕上げ: 屋根=ガルバリウム鋼板立平葺き 軒天井=珪酸カルシウム板張り 外壁=ガルバリウム鋼板縦張り、一部ヒノキ板横張り(プラネットウッドコート塗装)  
主な内部仕上げ: 天井(勾配天井=スギ板張り、平天井=珪藻土(ナノウォール)塗り壁) 壁=珪藻土(ナノウォール)塗り壁 床=30mm厚スギ板張り、蜜蝋ワックス仕上げ